

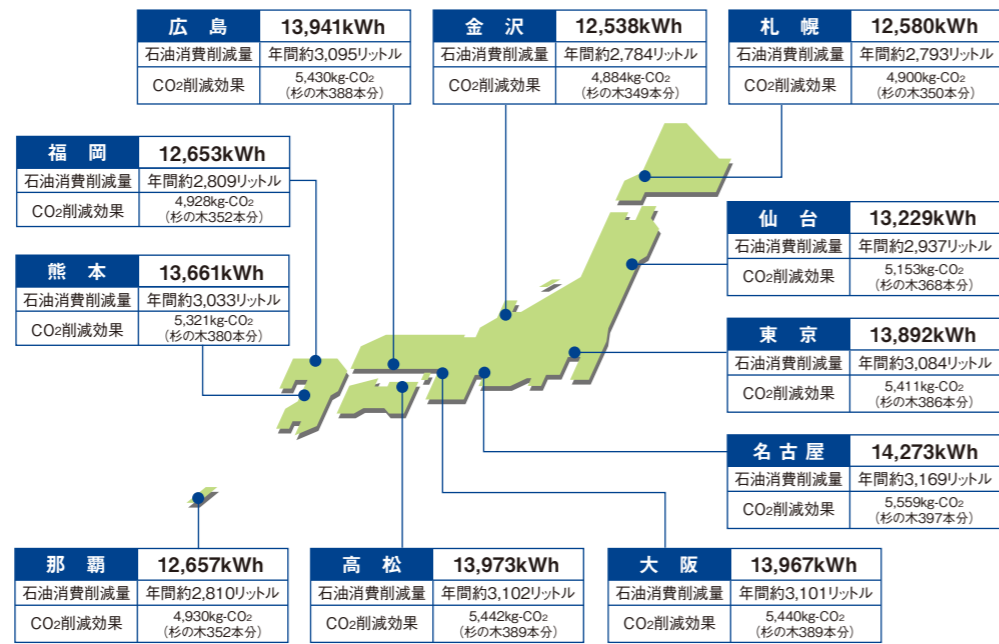
環境に貢献し、企業価値を高める産業用太陽光発電システム

日本国内では、各地とも年間10,000kWh以上(約10kWシステム使用時)が確保できます。

■ 推奨発電量の算出について

NEDO全国日射関連データマップのMONSOLA-20(2010年から2018年の全国1kmメッシュ、月平均の推奨値を収録した日射量データベース)を用いて算出しております。太陽電池容量は、IEC規格に基づいて算出された太陽電池モジュール出力の合計値です。実使用時の出力(発電量)は、日射の強さ、設置条件(方位・角度・周辺環境)、地域差および温度条件により異なります。

- 太陽電池容量10.120kWシステム
(太陽電池モジュール: NU-440KN×23枚(南面設置、傾斜角30°))での推奨発電量です。
- 算出方法はJIS C 8907:2005「太陽光発電システムの発電電力推定方法」を利用しています。
- ・ 太陽電池モジュールの最大出力温度係数は、モデル毎に異なります。
- ・ 基準状態の太陽電池モジュール温度: 25℃(JIS規格に基づく)
- ・ 加重平均太陽電池モジュール温度上昇: 21.5℃(屋根設置型)
- ・ 基本設計係数(総合設計係数からインバータ回路補正係数、温度補正係数を除く): 0.922
- ・ インバータ回路補正係数: 0.965



● 石油消費削減量: 火力発電の石油消費削減量を1kWhあたり0.222リットルとして試算。● CO₂削減効果: 結晶系シリコン太陽電池のCO₂削減効果を0.3895kg-CO₂/kWhとして試算。小数点以下は切り捨て。● 杉の木換算: 林野庁ホームページ掲載内容より、杉(成木)の1年間のCO₂吸収量と算出したCO₂削減量を比較して算出。小数点以下は切り捨て。

安全に関するご注意

■ 太陽光発電システムについて

- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。● 太陽電池モジュールを太陽光にさらされた状態で、出力リード線の充電部を素手で触らないでください。感電する場合があります。
- 尚、本商品は電気事業法で定められた一般用電気工作物の中の小出力発電設備用です。パワーコンディショナの内部には、お手を触れないでください。また、パワーコンディショナを濡れた手や布等で触れないでください。感電する場合があります。

■ 蓄電池/V2Hシステムについて

- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください。● 蓄電池本体、蓄電池用コンバータ、EV用コンバータおよび蓄電池連携型パワーコンディショナの内部にはお手を触れないでください。また蓄電池本体、蓄電池用コンバータ、EV用コンバータおよび蓄電池連携型パワーコンディショナをぬれた手や指等で触れないでください。感電する場合があります。● 本製品の誤動作または不具合による使用機器の機能停止や損傷、データ損失、周辺機器への影響などが発生しても一切の責任を負いません。● 本製品の取り外しやリサイクルの際は販売店またはお客様相談室にご相談ください。● V2Hシステムについては、ベースメーカーや挿込み型除細動器(ICD)をお使いの方は、運転中のEV用コンバータには近づかないでください。

■ 太陽光発電システムについて ● 太陽電池モジュールに太陽光が当たると、太陽の位置や角度によって、反射光が近隣住宅の窓に差し込む可能性があります。眩しさについては個人差があり、季節毎で見え方も異なりますので予測が難しいですが、近隣住宅への配慮が必要です。

太陽光発電システムや蓄電池システムの取り外し、移設処分等を行う場合は、専門技術者を要するため、販売・施工業者・建設業者、または製造元(システムメーカー)にご相談ください。業者が処分を行う際は、廃棄物処理法、建設リサイクル法に沿って、太陽光発電システムを産業廃棄物として適切な方法で処分することが義務付けられています。したがって、システム所有者は、取り外しや処分について、業者との間で適正な契約を事前に交わされることをお勧めします。詳しくは、2024年8月22日に環境省より公表された「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン(第三版)」を参照ください。

■ 蓄電池システムについて

■ 専用コンセントに接続する機器について以下のことにご注意ください。

- 停電時は、起動時に定格電流を大きく上回る電流が流れる機器は使用できません。
- 同時に使用できる機器は、各機器の仕様や使用状況などにより異なり、各機器の消費電力がシステムの定格出力以下の場合でも動作しない場合があります。
- 下記の機器は専用コンセントに接続できません。
 - ① 機能や精度などにきわめて高い信頼性・安全性が要求される機器
 - ② 直接人命にかかわる医療機器、人身の損傷に至る可能性のある装置
 - ③ 人の安全や社会機能に影響を与える制御機器(航空機器、航空宇宙機器、原子力制御機器、通信機器(幹線)など)
 - ④ 燃料電池、発電設備(ディーゼル発電機、ガスエンジン発電機など)、その他の蓄電設備
- 本機はUPS(無停電電源装置)ではありません。

停電時に自立運転へ移行する際に、一時的に停電状態になり、自立運転への移行が完了した後、蓄電池ユニットから電力を供給しますので、移行時に機器が停止します。したがって、コンピュータなどのデータ保存機器のバックアップ電源としては使用できません。

■ 次に示します費用・損失は、保証の範囲外であり、お客様のご負担となります。

- ① システム構成機器の故障・損傷・修理・交換に起因し、もしくは関連して発生したお客様の損失(電気代、他の財物に生じた故障もしくは損傷)
- ② システム構成機器またはその他の財物が使用できなかったことによる生じた損害など
- ③ システム構成機器と接続した他の使用機器の機能停止や故障・損傷・データ消失
- ④ 保証期間経過後の不具合に対する修理費用
- ⑤ 取扱説明書に従わなかったために発生した故障・事故

■ 設置・設定をされる方へのお願い

- 設置調整前に施工説明書をよくお読みになり、正しく安全に設置してください。
- 施工説明書に従わなかったために発生した故障・事故などについて当社では責任を負えません。
- 本製品は20kWhを超える場合は、自治体が決める火災予防条例に基づき所轄の消防署への届出が必要です(10kWh超~20kWh以下でも届出が必要な場合があるので所轄の消防署にご確認ください)。所轄の消防署に相談の上、設置場所を決めてください。
- 逆潮流を防止するRPR(逆電力継電器)が必要となります。

<QRコードから誘導されるサイトについてのご注意> ● 当サイト及び動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。● QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

● お問い合わせは ☎ **0120-789-456**

● 受付時間 / 月曜~金曜9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日、弊社休日は除く)

〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号
TEL: 050-3385-8374 / FAX: 06-6792-5993

■ 当カタログに掲載された製品の中で、品切れになるものもあります。販売店にお確かめのうえ、お選びください。■ 製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。製品の色調は印刷のため実物と異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。■ 価格については販売店にお問い合わせください。

シャープ株式会社

本社 〒590-8522
大阪府堺市堺区匠町1番地
<https://jp.sharp/>

このカタログの内容は、2025年9月現在のものです。
H.40 [LN20CE49]

● このカタログは環境に配慮した植物油インキを使用しています。

SHARP 産業用エネルギーソリューションシステム

産業用太陽光発電システム/蓄電池システム

<https://jp.sharp/business/solar/>

総合カタログ 2025-9

自家消費型発電システムから蓄電池・V2Hシステムまで、信頼と実績で支えるシャープのエネルギーソリューション。



株式会社山本製作所様



新製品 太陽電池モジュール 防眩モデル NU-435KB



太陽光発電は、つくった電気を「売る」から「使う」時代。自家消費型太陽光発電システムの導入は実績豊富なシャープへ。

電気料金の削減や環境経営に取り組む企業のみなさまへ

これからは電気も“地産地消” 太陽光発電は自家消費型が環境にもエコでお得。

メリット① 自家消費により電気料金を削減

施設の屋根や敷地内の遊休地に太陽光発電システムを設置して資産を有効活用。つくった電気を自家消費することで購入する電力を減らし、電気料金が削減できます。



メリット② 蓄電池を併設すればBCP(事業継続計画)対策に有効

BCP型の太陽光発電システムでは、災害などによる停電発生時には、発電電力を特定設備に供給することで事業を継続。蓄電設備を併設すれば、夜間などの発電できない時間帯にも備えられます。



メリット③ クリーンなエネルギーを利用することで、企業価値を向上

発電時にCO₂を排出しないクリーンなエネルギーを利用することはSDGs^{*}の達成に貢献するもので、企業価値の向上にもつながります。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を
---------------------------------	-----------------------------	--------------------------	----------------------------

*SDGs (Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

60年を超え、積み重ねた信頼と実績。「RE100」にも加盟。 確かなノウハウと技術力で導入から運営までサポートします

1959 太陽電池の開発に着手	2010 シャープの太陽電池の商業化および産業化が「IEEE ^{*1} マイルストーン ^{*2} 」に認定
1963 ・太陽電池の量産化に成功 ・横浜港鶴見航路のブイ(灯浮標)に世界初の太陽電池を納入	2013 発電事業を開始
1966 長崎県尾上島に当時世界最大225Wの灯台用太陽電池を設置	2018 6インチサイズ ^{*3} 単結晶シリコン太陽電池セルにおいて世界最高 ^{*4} の変換効率25.09%を達成
1976 ・初の太陽電池付電卓を発売 ・シャープ製太陽電池を搭載した実用衛星「うめ」打ち上げに成功	2023 企業様の環境経営を支援するアスエネ株式会社様と業務提携を開始
2003 モンゴル砂漠地帯でも安定稼働する独立型発電システム設置	2024 小型月着陸実証機「SLIM」に搭載
	2025 事業で使用する電力の全てを再生可能エネルギーにすることを旨とする国際的な枠組み「RE100」に加盟

*1 IEEE (正式名称: The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) アメリカに本部のある世界最大の電気・電子技術者による非営利団体組織(学会)。*2 IEEEマイルストーン IEEEが電気・電子・情報・通信の関連分野において達成された画期的なイノベーションの中で、社会や産業の発展に貢献したと認定される歴史的偉業を表彰する制度。*3 6インチサイズの太陽電池セル全面(240.6cm²)を対象に測定。*4 2018年3月27日発表当時。当社調べ。

シャープの太陽電池モジュールは「重塩害地域」や「積雪地域」にも対応。

重塩害地域対応			
設置地域	標準地域用 最大積雪99cm対応		積雪地域用 最大積雪200cm対応
サイズ	標準サイズ		標準サイズ
形名	NU-435KB <small>NEW</small>	NU-440KN	NU-590KG <small>NEW</small>
商品外観			
形名	NB-D450B <small>NEW</small>	NB-590KG <small>NEW</small>	NB-D620C <small>NEW</small>
商品外観			

●大型サイズまたは両面タイプのモジュールは、ケーブル、架台またはパワーコンディショナを当社で手配できないため、システムまるごと保証の対象外となります。

長年のノウハウに基づく、 当社独自の厳しい基準で 品質試験を実施

梅雨や夏の高温多湿、台風、積雪・霜、潮風などの過酷な状況を想定した品質試験を実施しています。

繰り返し風圧試験 強風や積雪への耐久性を検証	鋼球落下試験 モジュールの強度を検証	高温高湿/結露凍結試験 結露、霜への耐久性を試験	品質試験*
---------------------------	-----------------------	-----------------------------	-------

ご相談からシステム稼働開始までの流れ

様々な屋根に対応するシステムや最適なモジュールなど、豊富なノウハウと実績のもと、お客様のご要望・設置環境に適したシステムが構築できます。



見積・お問い合わせ*
ご購入・ご導入前のお問い合わせ・ご相談についてはこちら。

幅広い用途に対応できる豊富なラインアップ

小規模発電から大容量発電、特殊な積雪地域への設置まで、用途に合わせた商品をお選びいただけます。

地上設置	屋根設置	メガソーラー
------	------	--------



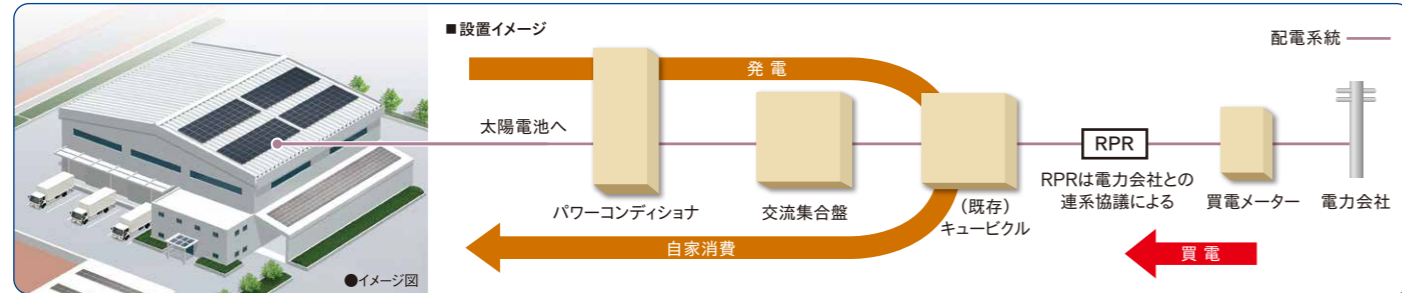
産業用システム
ホームページ*
カタログに掲載されないその他の情報や実際の導入事例などはこちら。

*QRコードは、スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。

自家消費システム

自然エネルギーを活用して電気代削減 太陽光発電システム

施設の屋根や空きスペースを活用して発電すれば、電力コスト削減だけでなく、企業として環境貢献のアピールにつながります。

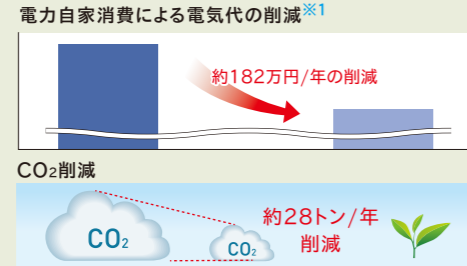


導入効果シミュレーション (大阪府に設置した場合の一例:年間推定発電量 約72,871kWh)

商業施設に容量52.8kWのシステムを設置した場合。

【システム例】
屋根面積: 約234m² (71坪)
太陽電池台数: NU-440KN×120台

10年間の節約額 約**1,822万円**※1



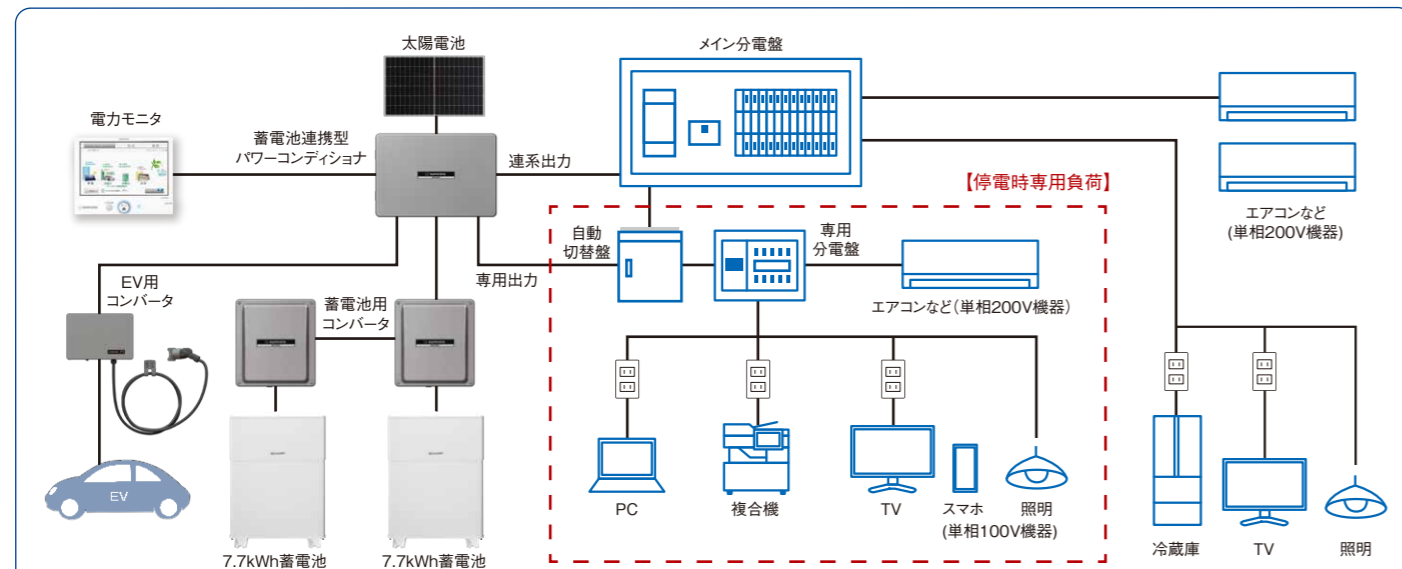
※1 電力各社の事業者向け電気料金平均単価(2023年度)を参考に、電気料金約25円/kWhとして、当社発電シミュレーションにより発電した電気が全て自家消費できるものとして算出しております。実際の電気代削減額は日射の強さ、設置諸条件、電気料金単価、自家消費率等により異なります。保証値ではありません。

メリット

- 1 電力会社に支払う電力量料金を削減
- 2 CO₂削減で環境貢献・企業価値向上
- 3 省エネ法への対応
- 4 停電時も電気が使えて安心
- 5 余剰電力を蓄電、さらに電気代削減に

組み合わせればさらにエコ、BCP対策も 蓄電池システム・V2Hシステム

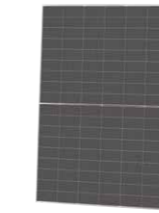
太陽光発電システムで発電した電気を自家消費できない場合でも、その余剰電力を蓄電池に貯めて使えるので、電気代をさらに削減できます。また、停電時も太陽光発電システムと連携して電気が使えるので安心です。



- ・業務用エアコン等の200V機器(単相三線)にも対応※2。
- ・PC・照明やスマートフォンの充電に使用でき、業務を安心して続けられます※3。
- ・蓄電池の容量は7.7kWh、9.5kWh、15.4kWh等、お客様のご要望に合わせて選択できます※4。
- ・V2Hシステムで電気自動車(EV)でも充放電できます。

※2 単相機器のみに対応しており、三相回路への接続はできません。接続する機器の消費電力がパワーコンディショナの定格出力以下であっても、始動電流が大きい等の理由で稼働できない場合があります。
 ※3 停電時に自動で太陽光発電や蓄電池からの電力供給に切替するには、初期設定の変更が必要です。また、自動切替設定時でも運転モードの切替のために、一時的に電気が供給されない時間があります。
 ※4 全量FITにはクラウド蓄電池は接続できません。

眩しさを抑え、今まで設置できなかった空港や都市部、北面にも設置可能な「防眩モデル」 NEW



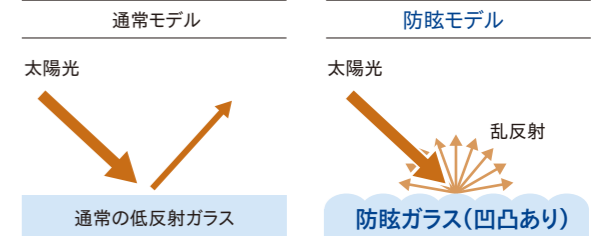
優れた防眩性能

ガラス表面の凹凸で光を乱反射させることで、一方方向への反射を小さくして眩しさを低減。

通常モデルと組み合わせ搭載容量アップ

北面に防眩モデルを設置することで、搭載容量が大幅にアップします。

●北面の年間推定発電量は南面の約66%程度になります(大阪市、傾斜角30度の場合)。

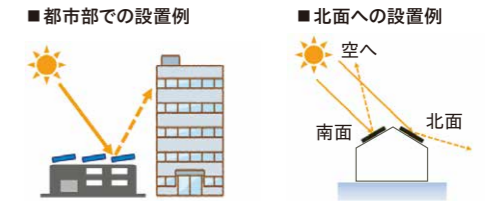


屋根材より低い「光沢度(60度)」により、北面にも設置可能。

太陽電池	屋根材					
	通常モデル	防眩モデル(セル上)	金属(シルバー)	金属(黒)	瓦	スレート
光沢度(60度)	20~30	1.3	20~30	5~6	2~10	2~3

(値はJIS Z 8741に準拠した参考値です)

一般的な屋根材より光沢度が低く、近隣への反射光の対策を求められる建物に適しています。
 ※東京都の機能性PV(防眩型)の基準は光沢度が7以下。



長く安心してお使いいただくために

手厚い長期保証と充実のサービス(要申し込み)

●パワーコンディショナ容量50kW未満の太陽光発電システム※1が対象です。

「モジュール出力20年保証」と「まるごと15年保証※2」で、さらに安心。設置後もお客様のシステムを見守り、的確に対応します。

保証

モジュール出力保証 **20年**

モジュール出力を保証(無償)

要申し込み

20年出力保証

1年機器保証

●産業用太陽電池モジュール(シャープ製機器)が対象です。

15年保証

小規模太陽光発電システム構成機器をまるごと保証(有償)* 要申し込み

15年機器保証

故障判定*3 交換費用

●シャープ製機器が対象です。
 *電力モニタ(JH-RPL2)、一括制御リモコン(JH-RPL1)、電力検出ユニット(JH-ASP01)は、まるごと15年保証対象外となります。

長期保証と充実のサービス

モジュール出力保証とシステム機器保証でさらに安心。

15年保証*



保証タイプ	保証費用	保証対象機器	機器保証 期間	太陽電池モジュール出力保証						
				期間	~10年		11~15年		16~20年	
太陽電池モジュール出力保証※4	無償	太陽電池モジュール	1年	20年	故障判定・交換費用 保証に含まない	保証値 90%※5	故障判定・交換費用 保証に含まない	保証値 80%※6	故障判定・交換費用 保証に含まない	保証値 80%※6
太陽電池モジュール出力保証 + まるごと15年保証※2	有償	システム構成機器	15年	20年	保証に含む	保証値 90%※7	保証に含む	保証値 85%※8	保証に含む	保証値 80%※6

※1 連系方式に制限はありません(非連系は除く)。※2 建物設置に限ります。申し込み時に当社で審査した上で加入いただけます。※3 非故障時の判定は有償です。※4 保証タイプが太陽電池モジュール出力保証のみの場合でも申し込みが必要となります。※5 納入仕様書記載の最大出力の下限値の90%のこと。※6 納入仕様書記載の最大出力の下限値の80%のこと。※7 公称最大出力の90%を基準値とし、その90%のこと。※8 公称最大出力の90%を基準値とし、その85%のこと。

導入事例(自家消費型システム)



株式会社エンプラス様(鹿沼工場)



株式会社島製作所様(本社・工場)



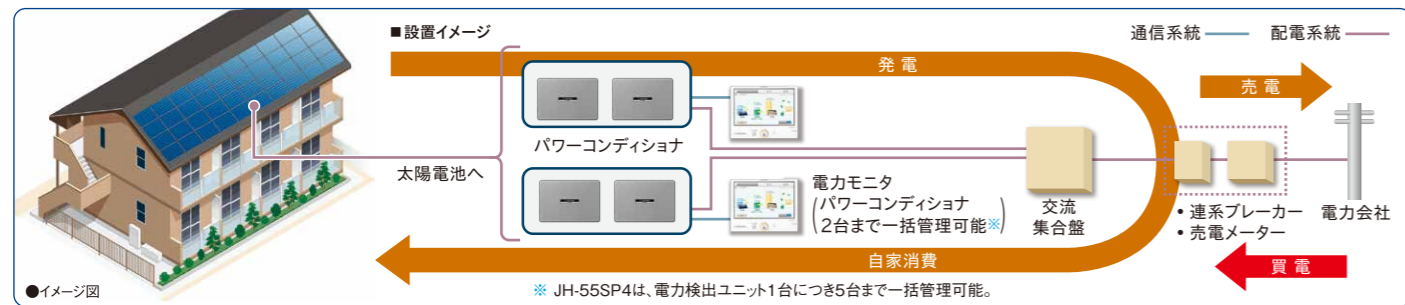
ホームセンタームサン様

*QRコードは、スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。

年間を通じて「電気を使用する量・日数が少ないお客様」にオススメ

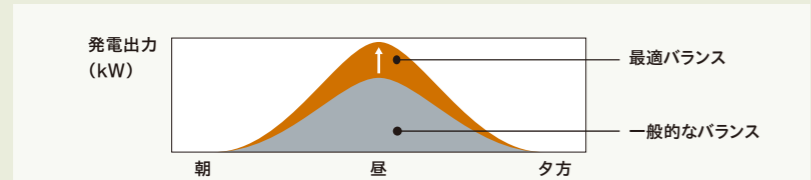
小規模太陽光発電FITシステム(50kW未満 余剰売電型システム)

発電した電気を自家消費して、余った電気を売電するシステム。低圧連系の場合は手続きや工事が簡易なため、短期間でシステムを稼働できます。



小規模でもより多く発電

豊富な設置実績をもとに、システムを最適バランスで設計。少しでも年間の総発電量増加を期待できるシステムをご提案します。

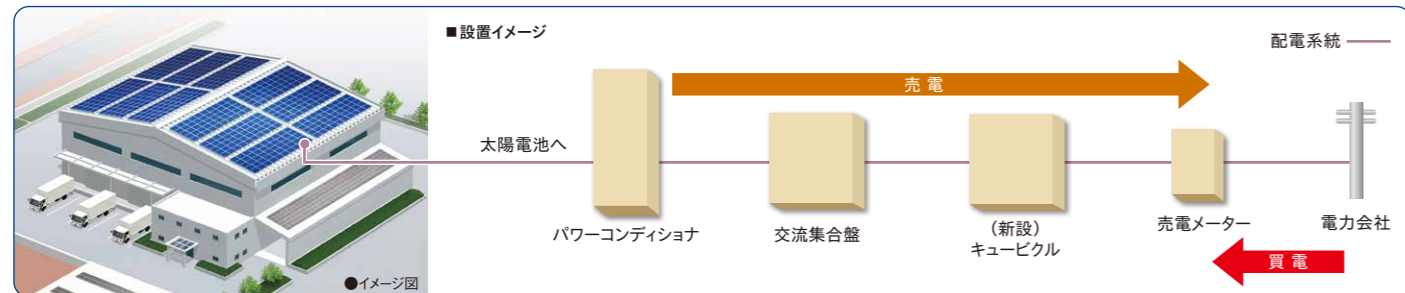


メリット

- 1 保安規定の制定・各種の届出等が不要で手続き簡単
- 2 必要設備や工事が少なく低コスト
- 3 空きスペースの有効活用

中・大規模太陽光発電FITシステム(50kW～全量売電型システム)

発電した電気を全て電力会社に売電するシステム。余っている屋根や土地のスペースに、たくさんの太陽電池を設置できます。



導入事例(FITシステム)

屋根設置

50kWシステム

国立大学法人 東京大学様 (東京都文京区)

160kWシステム

浅井建設株式会社様 ふじと台ステーションビル(立体駐車場) (和歌山県和歌山市)

670kWシステム

インショウフォレストリー株式会社様 (岡山県津山市)

地上設置

49.7kWシステム

個人事業主様 (京都府木津川市)

994.6kWシステム

文化シャッター株式会社様 西山太陽光発電所(新潟県柏崎市)

2,600kW(2.6MW)システム

シャープ苫小牧第一太陽光発電所 (北海道苫小牧市宇柏原)

■太陽電池モジュール仕様

形名	単結晶(標準地域用)		単結晶(積雪地域用)
	NU-435KB NEW	NU-440KN	NU-440SN
商品外観			
セル種類	単結晶	単結晶	単結晶
公称最大出力※1	435W	440W	440W
モジュール変換効率※2	22.3%	22.6%	22.6%
公称最大出力動作電圧	32.91V	33.09V	33.09V
公称最大出力動作電流	13.22A	13.30A	13.30A
公称開放電圧	39.32V	39.57V	39.57V
公称短絡電流	14.08A	14.15A	14.15A
最大システム電圧	1,000V		1,000V
静荷重(正/負) [固定箇所・固定方法]	正圧2,400Pa/負圧3,000Pa※3 [6箇所クリップ固定]		正圧4,500Pa/負圧3,600Pa※3 [6箇所クリップ固定]
垂直積雪量	設置角度により最大99cmまで対応可能		設置工法、設置角度により、最大200cm / 6,000Paまで対応可能
外形寸法	1,721×1,133×40mm		1,721×1,133×40mm
質量	22kg		24kg
外形図 (単位:mm)			

●太陽電池モジュールに太陽光が当たると、太陽の位置や角度によって、反射光が近隣住宅の窓に差し込む可能性があります。眩しさについては個人差があり、季節毎で見え方も異なりますので予測が難しいですが、近隣住宅への配慮が必要です。●台風や強風により、石などの固形物がモジュールガラス表面に当たると、ガラスが破損することがありますので、動産総合保険(自然災害に対する保険)に加入されることをお勧めします。●太陽電池モジュールは製造過程において、色むらなど外観上のバラつきが生じる場合がありますが、性能・信頼性に影響はありません。●防眩モデルは、ガラス表面に防眩加工をすることで光を乱反射させ、一方向への反射を小さくして、眩しさを抑えています。気象条件、および見える角度によって、全体が白く見えたり、モジュールごとの色のばらつきが見える場合がありますが、モジュールの出力や品質上の問題はありません。●防眩モデルと通常モデルを一つのストリング(系統)に繋ぐことはできません。

■パワーコンディショナ仕様

形名	JH-55NF3	JH-55SP4
商品外観		
定格出力	連系運転時 5.5kW※5 自立運転時 5.5kVA※6	5.5kW※5 1.5kVA
定格効率	0.95	0.95
入力回路数	3回路※7	4回路
電力変換効率※8	97.0% (力率1.0時) / 96.5% (力率0.95時)	96.5% (力率0.95時)
対応電力モニター	要 (JH-RWL8)	任意 (JH-RPL1、JH-RPL2)
設置場所※9	屋外・屋内兼用(重塩害対応※10)	屋外・屋内兼用
接続箱※11機能	有り	有り
単独運転検出	受動的方式・新型能動的方式	受動的方式・新型能動的方式
FRT対応	○	○
出力制御対応※	○	○(右記JH-ASP01が必須)
定格入力電圧	DC 320V	DC 330V
入力運転電圧範囲※12	DC 30V~450V	DC 40V~450V
最大入力電圧	DC 450V	DC 450V
定格 連系運転時	AC 202V	AC 202V
出力電圧 自立運転時	単相三線AC 202V / 101Vx2	AC 101V
定格出力周波数	50 / 60Hz	50 / 60Hz
夜間消費電力※13	+9W※14	+1W
相数	単相二線(単相三線に接続)	単相二線(単相三線に接続)
絶縁方式	トランスレス	トランスレス
インバータ制御方式	連系運転時 電圧型電流制御方式 自立運転時 電圧型電流制御方式	連系運転時 電圧型電流制御方式 自立運転時 電圧型電流制御方式
系統連系保護機能	OVR、UVR、OFR、UFR	OVR、UVR、OFR、UFR
動作温度	-20℃~+40℃	-20℃~+50℃
動作湿度※15	85%以下	90%以下
運転音※16	46dB※17	33dB
外形寸法(幅×奥行×高さ)※18	505×194×347mm	405×213×478mm
質量※18	22kg	23kg
外部停止入力端子	無し	有り

●パワーコンディショナJH-55SP4に接続できるモニター/リモコン/電力検出ユニットは、JH-RPL2/JH-RPL1およびJH-ASP01です。クラウド蓄電池と接続はできません。●NEW印の新製品の発売日程については、営業担当者までお問い合わせください。●その他、太陽光発電システム設置容量に合わせた、上記以外のパワーコンディショナもご用意しております。●出力制御を機能させるためには、出力制御対応のパワーコンディショナと対応する電力モニターおよび電力検出ユニットを組み合わせて設置し、電力モニター(JH-55SP4はパソコンでも可)で出力制御の設定を行う必要があります。●パワーコンディショナ、蓄電池用コンバータや配線から漏れる電磁的雑音、近隣のアマチュア無線、防炎無線やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。アマチュア無線の運用周波数によって影響は異なりますが、見逃せる範囲にアンテナがある場合は距離が離れていても影響を与える場合があります。特にHF帯(30MHz以下の周波数)で運用されているアマチュア無線局が100m以内の距離にある場合や防炎無線のアンテナの近くに設置される場合は、影響を与える場合がありますので、設置はお控えください。万一、前述の機器の受信に何らかの影響を与えたとしても、当社は責任を負いかねます。

■モニター/リモコン/電力センサー仕様

形名	マルチエネルギーモニター(屋内設置)	カラー電力モニター(オプション)	一括制御リモコン(オプション)
商品外観			
動作温度	-20℃~+40℃	0℃~+40℃	-20℃~+50℃
外形寸法(幅×奥行×高さ)	175×27×137mm※18	194×31×120mm	70×26×120mm
質量	0.5kg※18	0.5kg※19	0.14kg※18
定格消費電力※20	5.0W(無線通信時)	5.0W	1.0W

形名	電力センサー(120A)(オプション)	電力検出ユニット(150A)
商品外観		
サイズ	40×75×95mm	120×60×270mm
設置場所	屋内	屋内
ネットワーク	—	無線 LAN / 有線 LAN
動作温度※15	-10℃~+40℃	-10℃~+50℃
消費電力	2W	3W
CT径	φ19.4mm	φ16mm
ケーブル長	1.5m	1.5m

■クラウド蓄電池

小容量でコンパクトなクラウド蓄電池も設置可能です。

クラウド蓄電池※

■V2Hシステム

業界最小・最軽量※で、すっきりと壁掛け設置できます。

※太陽光発電と蓄電池とDC連携可能なV2Hシステムにおいて、外形寸法 幅505×奥行194×高さ347mm(充放電コネクタ・ケーブル・突起部除く)、質量23kg(充放電コネクタ・ケーブル・取り付け具を含む)。当社調べ(2025年9月13日現在)。

V2Hシステム※

●詳細はホームページでご確認ください。●設置画像はイメージです。●QRコードは、スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。

※1 公称最大出力の数値は、JIS規格で規定された基準状態での代表的な値です。※2 太陽電池モジュールの変換効率(%)は、モジュール公称最大出力(W)/100モジュール面積(m²)×1,000W/m²の計算式を用いて算出しています。変換効率とは、太陽光エネルギーから電気エネルギーに変換したときの割合を表します。※3 詳細は、納入仕様書・設置工事説明書をご参照ください。※4 気象条件・立地条件・設置条件・周囲温度などの諸条件により、パワーコンディショナの保護機能が働かず、出力を一時的に抑制することがあります。出力を抑制した場合、電力モニターJH-RWL8は「電圧」「温度」「湿度」のアイコンまたはメッセージが表示されます。※5 力率1.0時 / 0.95時。※6 片相だけでは、定格出力一杯まで出力できません。※7 全ての入力回路を使用しなければ、定格出力一杯まで出力できません。※8 JIS C 8961の規定に基づいた値です。また、接続箱機能を含みます。※9 屋内に設置する場合、別途開閉器が必要です。※10 重塩害地域では蓄電池は屋内に設置してください。蓄電池を屋内に設置する場合は別途屋内設置専用金具が必要です。※11 太陽電池の複数系統を1つの系統にまとめ、パワーコンディショナに入力させる機器。※12 パワーコンディショナが起動する際は、いずれかの入力端子にJH-55NF3は35V以上、JH-55SP4は50V以上の入力電圧が必要です。※13 夜間消費電力は使用する電力モニターおよび電力検出ユニットの消費電力を加算されます。※14 蓄電池を設置しない場合。※15 氷結・結露しないこと。※16 運転時にJIS C 8980.2009に基づき無音音室で測定した値であり、±3dBの公差が生じます。測定周波数20kHz以下。また、屋内に設置する場合は、運転音が問題となる場所には設置しない等、設置場所について販売店とよく相談ください。※17 測定周波数18kHz以下の場合±27dB。※18 取り付け金具を含みます。※19 台座を除きます。※20 工場出荷時の明るさ設定で、画面点灯中の値です。パワーコンディショナ動作中は、太陽電池モジュールで発電した電力、停止中は系統の電力を消費します。